

Press Release

2013 年 7 月 3 日

MTTRF 年次総会開催および Berkeley Institute グランドオープンについて

森精機製作所(以下、当社)が主たる運営母体となる MTTRF(Machine Tool Technologies Research Foundation: 財団法人工作機械技術研究財団)の年次総会が、米国カリフォルニア州サンフランシスコ、インターコンチネンタルマークホプキンスホテルにて開催されました。2013 年 7 月 1 日と 2 日の 2 日間、世界各国より工作機械の研究者約 90 名が集まり、当社取締役社長森雅彦の「グローバルな工作機械市場へ向けた活動について」の講演に続き、今後の工作機械の開発や加工技術に大きな影響を与える最先端の研究結果が発表されました。

また、年次総会に先立ち、MTTRF Berkeley Institute(バークレー・インスティテュート)のグランドオープニングが行われました。

Berkeley Institute は、産官学における実用的な協力関係を強化し、教育や研究活動を通じて優れたエンジニアを育成するための機関として開設されました。全米だけでなく世界でもトップレベルのカリフォルニア大学バークレー校(University of California, Berkeley)が所在する街として有名なバークレー市に位置しています。式典では、取締役社長森雅彦が「MTTRF Berkeley Institute で最新・最高の技術が研究・開発され、アメリカの製造業復活に大きく貢献することを願っています。」と述べました。

さらに今回、当社製の NTX2000(複合加工機)、提携先の DMG(ギルデマイスター)の Ultrasonic20(超音波加工機)、Lasertec20(レーザー加工機)など最先端の工作機械 5 台を提供しました。

当社は、これからも工作機械に関する革新的技術の研究開発を行う大学及び公的研究機関を対象に、工作機械の提供など研究助成活動を世界的な規模で進めてまいります。

以上

※MTTRF(Machine Tool Technologies Research Foundation: 財団法人工作機械技術研究財団)
2002 年 10 月に株式会社森精機製作所が基本財源を拠出して設立された米国政府公認の非営利財団法人です。理事長はカリフォルニア大学デービス校及びバークレー校の山崎和雄教授、理事を森精機製作所取締役社長の森雅彦および常務執行役員の岡田夏生が務めております。

【MTTRF 年次総会 発表内容】

1. 熱的要因による回転軸の位置誤差の測定、モデリングおよび補正
(チューリッヒ大学 Wegener 教授)
2. CFRP のエンドミル加工 (金沢大学 上田教授)
3. 簡素な動作軌道を使用する産業機械の位置決め制御における省エネルギー化
(豊橋技術科学大学 内山教授)
4. カリフォルニア大学デービス校での製造研究と教育プログラム
(カリフォルニア大学デービス校 曾雌教授)

5. NC 工作機械における送り駆動系の電力消費の分析
(神戸大学 白瀬教授)
6. FSW ツールの形状と切削力および切削トルクとの間の実験に基づいた関係性
(ウィスコンシン大学 Pfefferkorn 教授)
7. エネルギー効率の良い製造に向けた工作機械の特性と加工方法
(ルーヴァン・カトリック大学 Lauwers 教授)
8. 改良したインポリュート歯車の柔軟な製造 (ブレーメン工科大学 Goch 教授)
9. マシニングセンタにおけるタッチトリガプローブを用いた機械上測定についての基礎研究
(大阪工業大学 井原教授)
10. ラピッドプロトタイピングの改善および加工により生じる製品寿命の改善についての定量化
(カリフォルニア大学バークレー校 Dornfeld 教授)
11. 5 軸ミルを使用したメゾスケール音叉型ジャイロの試作 — 実物試作による製造誤差感度の研究
(マサチューセッツ工科大学 Chun 教授)
12. 時間領域シミュレーションのためのフライス加工面生成モデル
(フローレンス大学 Campatelli 教授)
13. 円錐台加工の研究 (ダブリン大学 Byrne 教授)
14. フライス加工における自動ビビリ検知と抑制 (プリティッシュコロンビア大学 Altintas 教授)



Berkeley Institute グランドオープニングの様子



年次総会集合写真